

九州農政局管内の農業農村整備事業の概要



令和7年2月28日
九州農政局

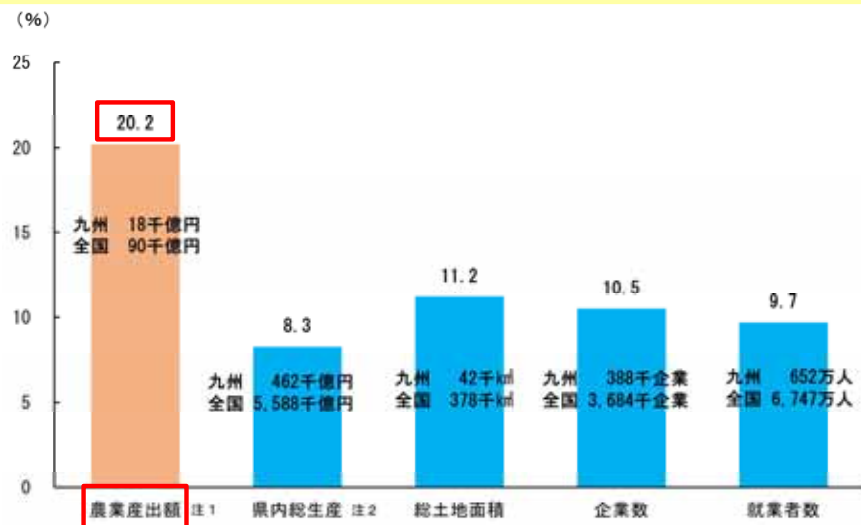
目 次

1	九州農業の特徴	
(1)	全国に占める九州の割合	1
(2)	農業産出額	2
(3)	耕地面積と耕地利用率	3
(4)	認定農業者数、農業就業者	4
(5)	農林水産物・食品輸出額の推移	5
2	農地等の整備状況	
(1)	農地	6
(2)	農業水利施設	7
3	近年の自然災害	8
4	国営土地改良事業の実施状況	9

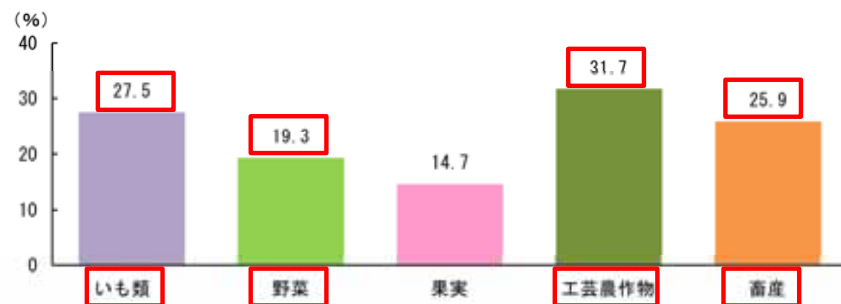
1 九州農業の特徴 (1) 全国に占める九州の割合

- 九州は「全国の1割経済」といわれている中、農業産出額は全国の約2割を占めており、農業が盛んで日本の食料基地となっている。
- 九州の部門別農業産出額の全国に占める割合をみると、いも類、工芸農作物、畜産では約3割、野菜では約2割を占めている。

全国に占める九州の割合



部門別農業産出額の全国に占める九州の割合



資料：農林水産省「令和4年生産農業所得統計」、内閣府「令和2年県民経済計算」
 国土地理院「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「令和3年経済センサス活動調査」
 総務省統計局「令和5年労働力調査」

注：1 農業産出額は、都道府県別の品目ごとの生産量に、品目ごとの農家庭先販売価格（消費税を含む。）を乗じて求めたもの。なお、農業産出額の全国は都道府県計。

2 県内総生産の全国は全県計（都道府県計）。

主な品目別農業産出額の全国に占める九州の割合

単位：億円、%

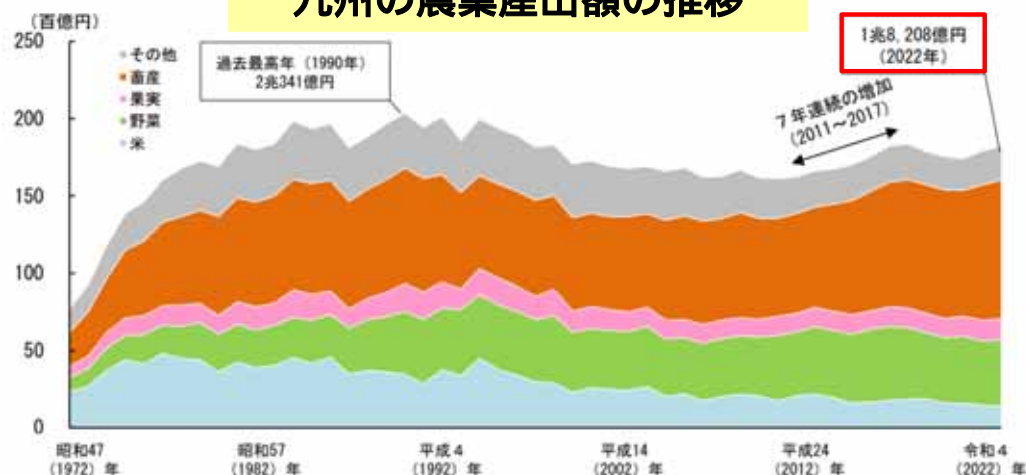
部門	品目名	農業産出額 (全国)	農業産出額 (九州)	全国 シェア	九州における1位		
					県名	農業 産出額	全国 シェア
いも類	かんしょ	1,111	310	27.9	鹿児島	164	14.8
	ばれいしょ	1,012	273	27.0	鹿児島	141	13.9
野菜	トマト	2,302	576	25.0	熊本	376	16.3
	いちご	2,019	699	34.6	福岡	242	12.0
	きゅうり	1,251	289	23.1	宮崎	163	13.0
	なす	755	177	23.4	熊本	97	12.8
	メロン	655	140	21.4	熊本	117	17.9
	すいか	631	142	22.5	熊本	114	18.1
	ピーマン	538	196	36.4	宮崎	110	20.4
果実	みかん	1,557	476	30.6	熊本	147	9.4
	しらぬい(デコボン)	177	122	68.9	熊本	87	49.2
	キウイフルーツ	101	29	28.7	福岡	20	19.8
	マンゴー	89	63	70.8	宮崎	50	56.2
	なつみかん	43	28	65.1	鹿児島	17	39.5
工芸農作物	茶(生葉)	471	223	47.3	鹿児島	154	32.7
	さとうきび	295	128	43.4	鹿児島	128	43.4
	葉たばこ	190	105	55.3	熊本	43	22.6
畜産	肉用牛	7,912	3,199	40.4	鹿児島	1,228	15.5
	豚	6,775	2,042	30.1	鹿児島	909	13.4
	ブロイラー	3,940	2,022	51.3	鹿児島	889	22.6

資料：農林水産省「令和4年生産農業所得統計」

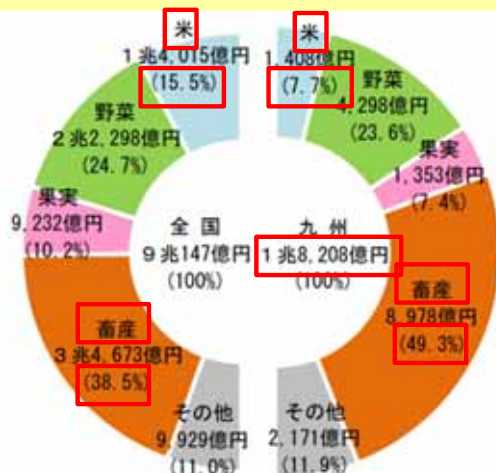
(2) 農業産出額

- 令和4年の九州の農業産出額は1兆8,208億円で、対前年増減率は1.7%増加した。
- 過去50年の農業産出額をみると、平成2年をピークに減少傾向で推移していたものの、平成23年以降は7年連続で増加した。その後、平成30年以降は減少傾向で推移していたが、令和3年以降は増加に転じている。
- 部門別にみると、九州は全国に比べて米の割合が低く（全国15.5%、九州7.7%）、畜産の割合が高くなっている（全国38.5%、九州49.3%）。このほか、温暖な気候を活かし、野菜や果実の生産など多様な農業が展開されている。

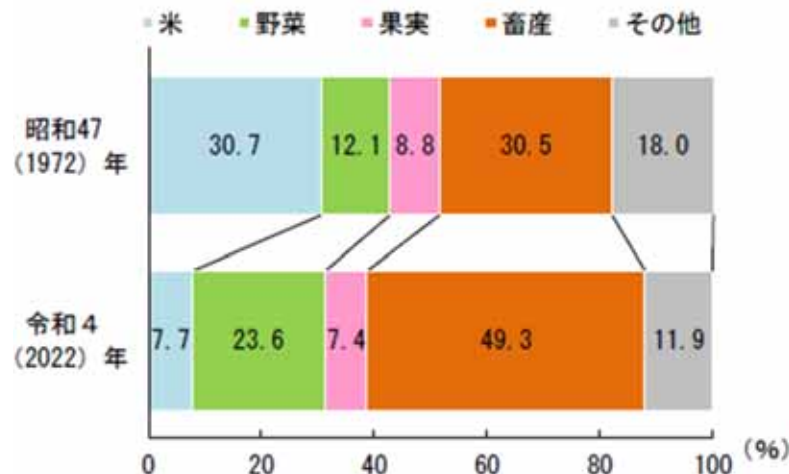
九州の農業産出額の推移



農業産出額部門別割合（R4）



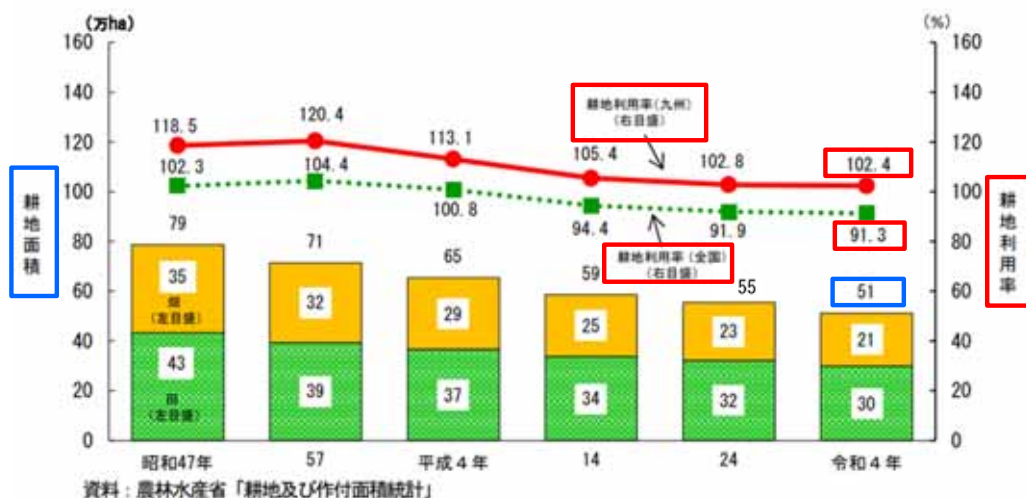
50年前の農業産出額の部門別構成割合との比較（九州）



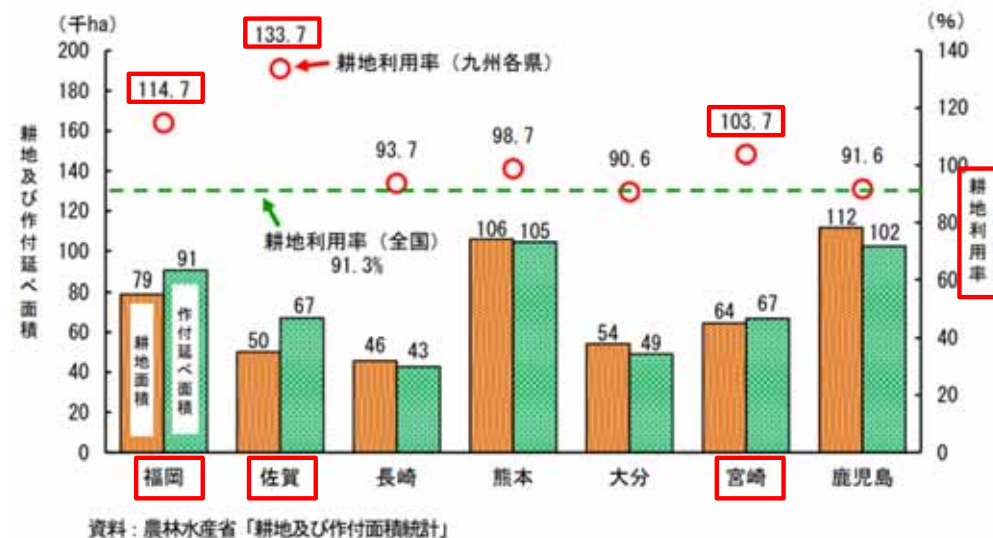
(3) 耕地面積と耕地利用率

- 九州の耕地面積は、約51万haで、全国（433万ha）の約1割を占める。
- 担い手の高齢化による荒廃農地の増加、宅地や道路等への転用により、平成4年から約30年間でおよそ14万ha減少しているが、荒廃農地対策の推進等により、近年の減少幅は緩やかとなっている。
- 耕地利用率は、全国（91.3%）を大きく上回る102.4%となっており、特に福岡県や佐賀県では水田を活用した裏作（麦）、宮崎県では飼料作物の作付けが盛んである。

耕地面積と耕地利用率の推移（九州）



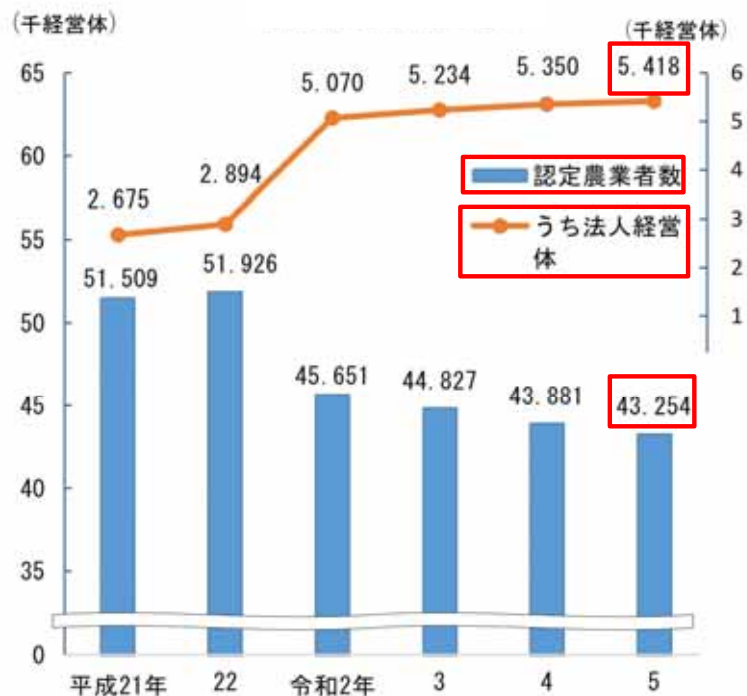
九州各県の耕地及び作付延べ面積と耕地利用率（R4）



(4) 認定農業者数、農業就業者

- 九州における認定農業者数は、4万3,254経営体（令和5年）で全国（約22万経営体）の2割を占めている。令和5年の法人は5,418経営体と増加傾向にあり、平成22年と比較すると約1.9倍になっている。
- 九州の農業就業者は、70歳以上の者が54%を占めるなど高齢化しており、今後、高齢農業者のリタイアが進むことが見込まれる。
- 一方、九州の新規就農者数は3,005人（令和4年）となっており、新規就農を促進することが重要である。

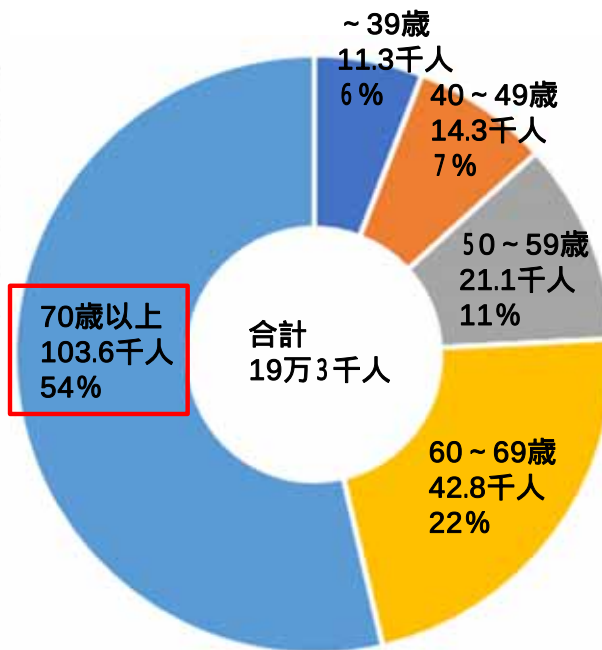
九州の認定農業者の推移



資料：農林水産省経営局経営政策課調べ

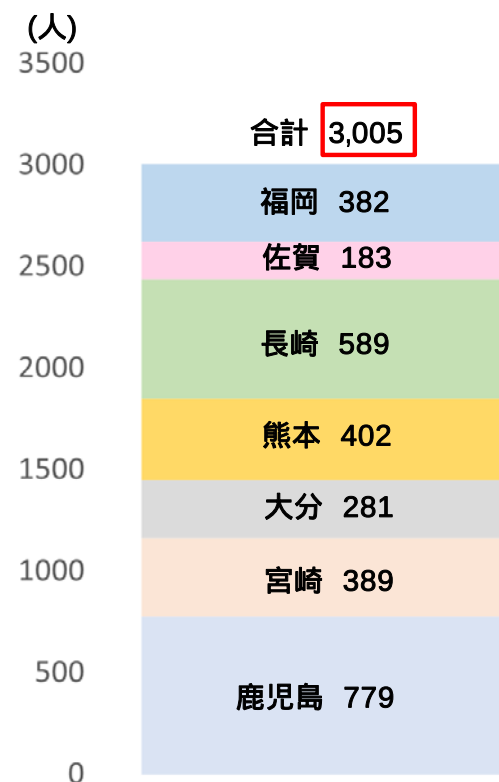
※複数の地方農政局の管区にまたがる場合の国認定数を除く

九州の農業就業者(R5)



資料：農林水産省：農業構造動態調査の基幹的農業従事者数

九州の県別新規就農者数(R4)

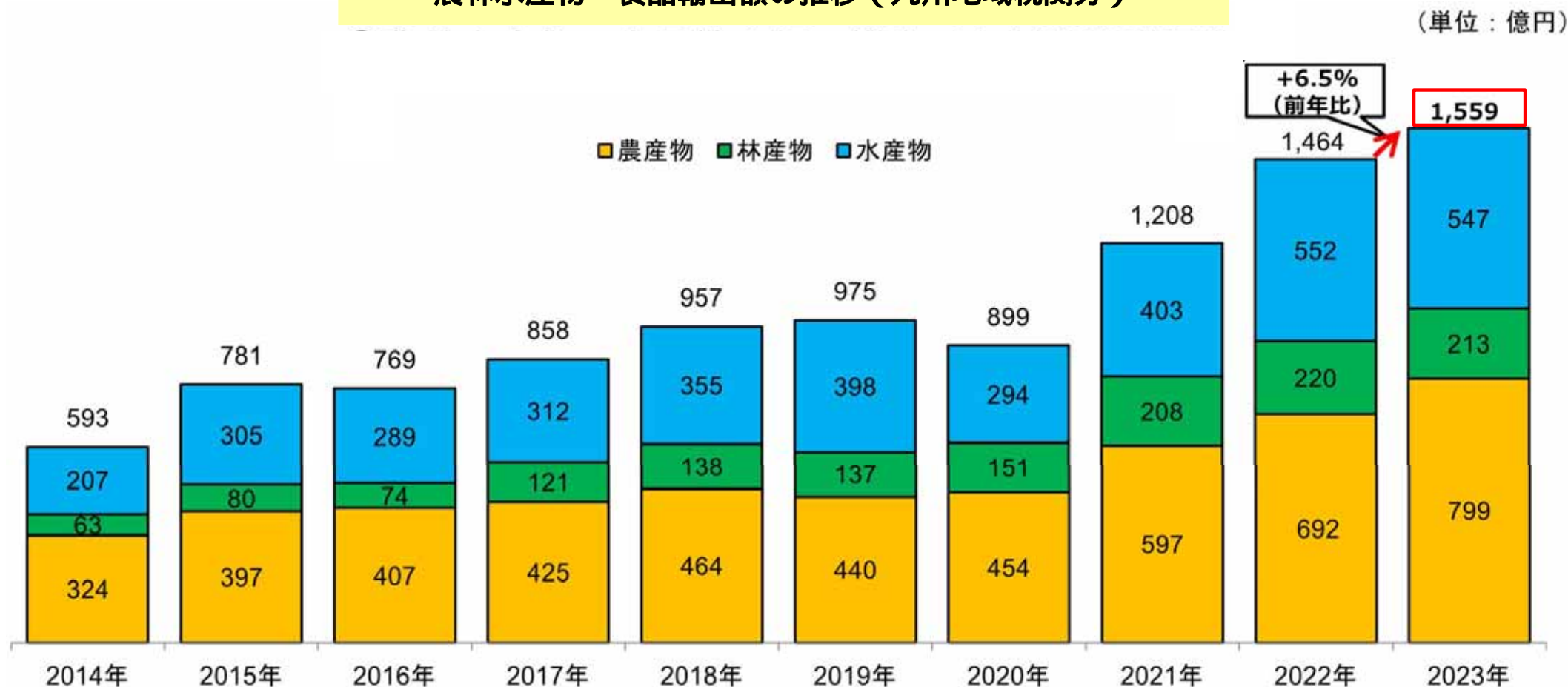


*新規就農者数は、各県がそれぞれ実施した独自調査結果を農政局で集計したものです。

(5) 農林水産物・食品輸出額の推移

- 令和5年における、九州の輸出額は1,559億円（前年比+6.5%、全国の農林水産物・食品の輸出額は1兆4,547億円（前年比+2.9%））となっており、過去最高を更新した。

農林水産物・食品輸出額の推移（九州地域税関分）

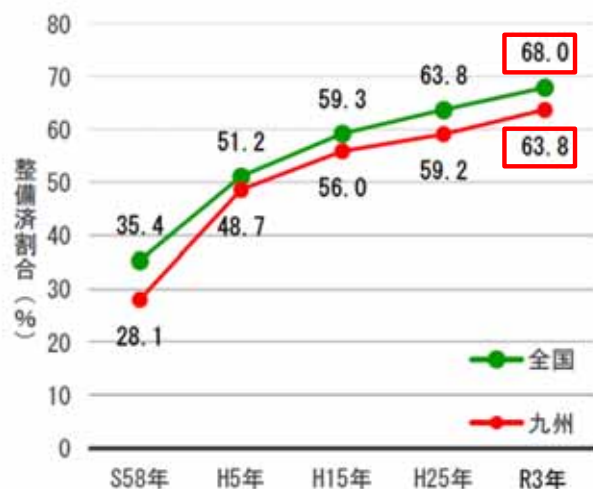


財務省「貿易統計」をもとに九州地域の港等からの輸出額を九州農政局で参考集計。（前年比は百万円単位で計算。）

2 農地等の整備状況 (1) 農地

- 九州では、水田の整備済割合（30a程度以上）が、全国平均の68.0%よりやや低い63.8%となっており、50a以上の大区画化の割合も低くなっている。
- 一方、畑の末端かんがい施設の整備済割合は、全国平均の25.2%よりやや高い28.7%となっているが、末端農道整備済割合は、全国平均の79.4%より低い68.4%となっている。
- このため、大区画化や汎用化等の整備を引き続き進め、労働生産性の向上や高収益作物の導入を図っていく必要がある。

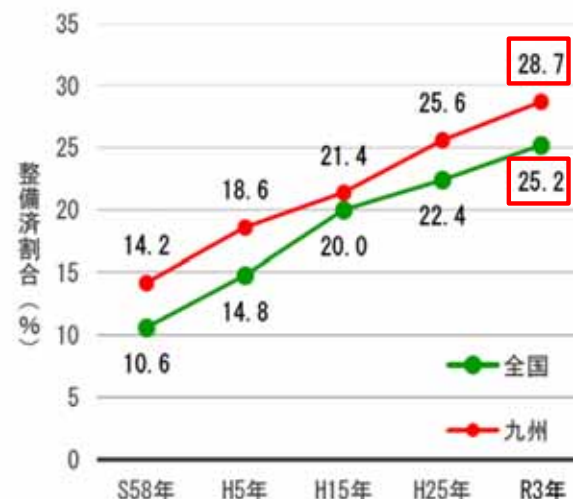
水田整備済（30a程度以上）割合の推移



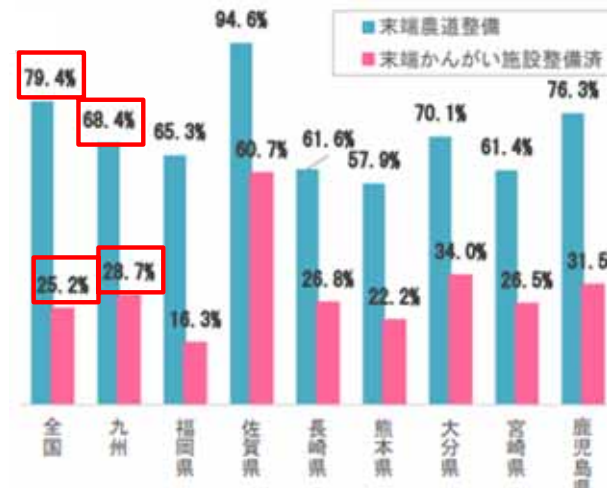
水田整備済割合



畑の整備済（末端かんがい施設）割合の推移



畑の整備済割合



資料：農業基盤情報基礎調査
(令和4年3月31日)

(2) 農業水利施設

- 九州における基幹的な農業用排水路の延長は、4,853kmであり、全国（約5万2千km）の約9%。
- ダム、頭首工、用排水機場等の施設は、1,108箇所であり、全国（7,735箇所）の約14%。
- これらの基幹的な水利施設は、耐用年数を超えた施設が多く老朽化が進んでおり、特に、熊本県、大分県及び宮崎県は半数以上の施設が耐用年数を超過するなど、突発事故の増加や施設機能の低下が懸念されている。
- メンテナンスサイクルの核となる個別施設計画を農業水利施設の造成主体又は施設管理者が策定し、戦略的な維持管理・更新を推進している。

農業用排水路のストック量

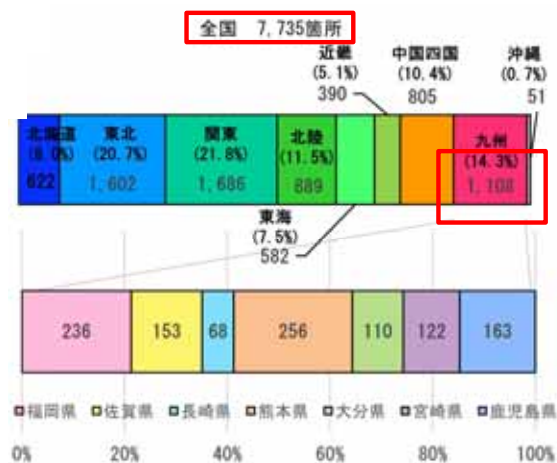


耐用年数超過割合（令和4年）

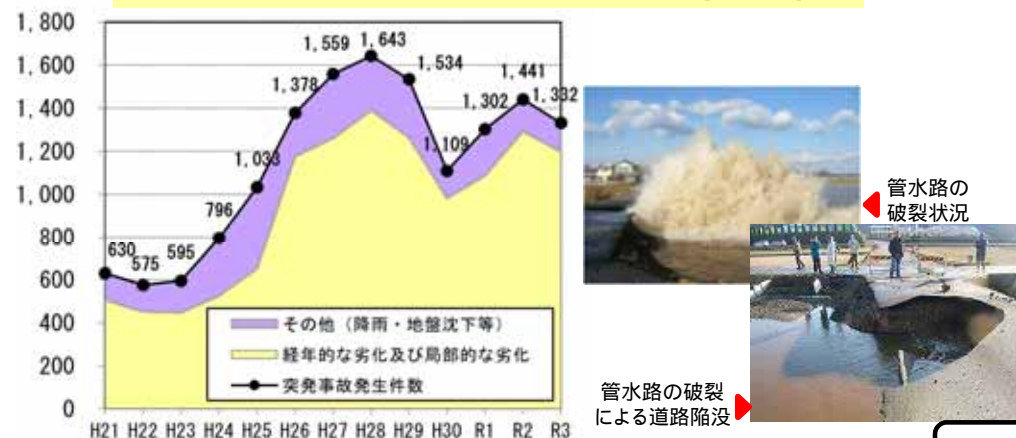


資料：農業基盤情報基礎調査（令和4年3月31日）

基幹的な農業水利施設数



農業水利施設の突発事故発生状況（全国）

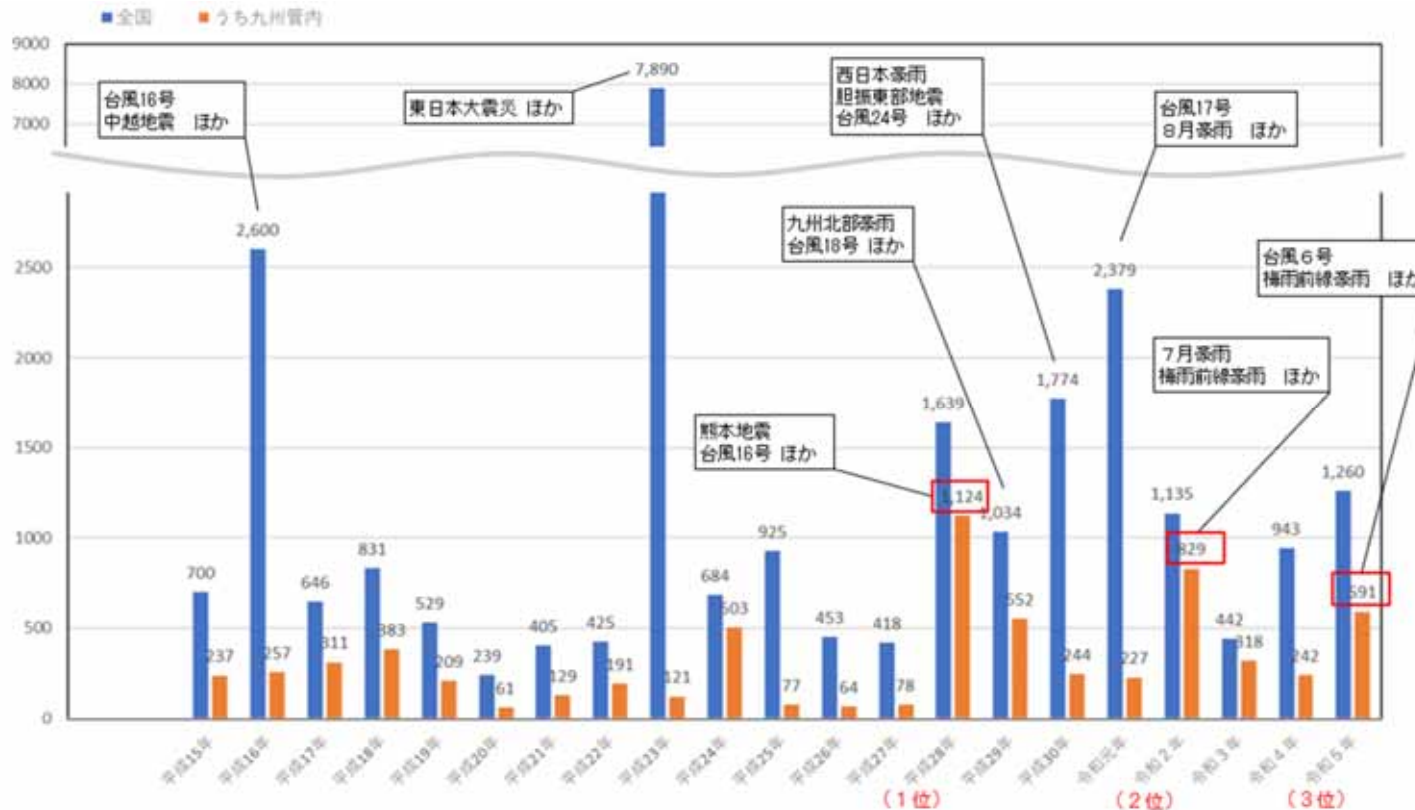


資料：農村振興局整備部水資源課施設安全管理室調

3 近年の自然災害

- 九州管内の過去20年間の農地・農業用施設の被害額は、1位が平成28年（熊本地震）、2位が令和2年（7月豪雨）、3位が令和5年（台風6号）であり、近年、自然災害が激甚化・頻発化している。
- このような災害が発生した場合には、農林水産省の職員による支援として、被災自治体へMAFF-SAT（農林水産省サポート・アドバイス・チーム）を派遣し、復旧工法等に関する技術的な支援を行っている。

過去20カ年の農地・農業用施設の被害額推移



MAFF-SATによる支援状況

4 国営土地改良事業の実施状況

ダム、地上ダム、地下ダム、地下下ダム、開水、開水路、導水、導水路、溢槽、溢水機場、排砂、排水機場、加壓、加圧機場、F/P：ファームバンド、留種、取水機門、閘首、閘首工、送水、配水路、排水、排水路、幹水、幹線水路、調治、調整池、区画、区画整理、農地、農地造成、集水、集水井、分方、分水工、排水、排水門、排水、排水施設（造）、治水工事、受益面積）は内数

■国営かんがい排水事業

区分	地区名	関係市町村名	受益面積	期間(年度)	主要工事
実施	国営施設機能保全事業 筑後川中流	福岡県久留米市他3市1町	5,194 ha	H28～R7	頭首(改)① 用水(改)6.9km 水管○
	国営施設機能保全事業 筑後川下流福岡	福岡県久留米市他6市1町 佐賀県みやき町	13,871 ha	H29～R8	用水(改)10.7km 制水(改)① 排樋(改)④ 排水(改)117.2km 水管(改)○
	国営造成土地改良施設整備事業 佐賀中部	佐賀県佐賀市他1市	9,666 ha	S5～R7	水管○ 排水管○
	国営造成土地改良施設整備事業 筑後川下流佐賀	福岡県久留米市他1市 佐賀県佐賀市他1市3町	8,552 ha	R6～R7	水管(改)○
	国営かんがい排水事業 八代平野	熊本県八代市他1町	5,448 ha	H30～R12	頭首(改)① 導水(改)0.5km 幹水(改)33.6km 排樋② 排水2.1km 排水(改)3.7km 水管○
	国営施設応急対策事業 大淀川左岸	宮崎県宮崎市他1市1町	1,632 ha	R元～R7	広沢ダム(改)① 導水(改)1.1km 幹水(改)0.6km
	国営施設応急対策事業 川南原	宮崎県木城町他1町	659 ha	R元～R7	幹水(改)6.8km
	国営かんがい排水事業 一ツ瀬川	宮崎県西都市他3町	2,330 ha	R5～R14	東原調整池(改)① 頭首(改)② 揚機(改)① 導水(改)5.8km 用水(改)37.9km 水管(改)○
	国営施設機能保全事業 笠野原	鹿児島県鹿屋市他1町	2,452 ha	H25～R9	導水(改)8.6km 幹水(改)35.0km 調池(改)④ 貯水池法面对策○ 揚機(改)① 加機(改)① 水管(改)○
	国営かんがい排水事業 沖永良部	鹿児島県和泊町他1町	1,497 ha	H19～R7	沖永良部地下ダム① 揚機① 用水44km
	国営かんがい排水事業 喜界島	鹿児島県喜界町	2,257 ha	R3～R17	喜界第2地下ダム① 喜界地下ダム(改)① 揚機① 揚機(改)④ 用水15.4km 用水(改)2.1km FP② FP (改)⑤

■國營農地再編整備事業

農地:農地造成 區画:區画整理 用水:用水路 揚機:揚水機場

区分	地区名	関係市町村名	受益面積	期間（年度）	主要工事
実施	国営緊急農地再編整備事業 宇城	熊本県宇城市	777 ha	R 2 ～ R 16	区画777ha 排灌②
	国営緊急農地再編整備事業 駅越川	大分県宇佐市	800 ha	H27～R 8	区画170ha 用水33km 排灌④

■ 国营総合農地防災事業

水防: タリクタ店面保護整備 調査: 調査工 用排水: 用排水路 排水: 排水設備 沢ガ: 沢水吐ダート 取ガ: 取水ダート
 貯法: 貯水池法整備 施設: 施設除去 貯蓄: 貯砂施設 管理: ダム管理施設 調池: 調整池 水警: 水管理施設

区分	地区名	関係市町村名	受益面積	期間（年度）	主要工事
実施	筑後川下流右岸	佐賀県佐賀市他2市3町	10,822 ha	H24～R9	夕法173km

■直轄海岸保全施設整備事業

內窗 內窗玻璃 防蟻 防蟻隔門 排蟻 排水隔門 制門 制水門 排蟻 排水隔牆 門窗 門窗工
業油 制窗油 (改) 改修工業 (制) 制修工業

区分	地区名	関係市町村名	受益面積	期間（年度）	主要工事
実施	玉名横島	熊本県玉名市	2,905 ha	H12～R6	堤防(補)10km 潮池9km 排樋⑥ 排機③
	八代	熊本県八代市他1町	5,489 ha	R3～R21	堤防(補)5km 潮池5km 消波0.8km 排樋⑦
	西国東	大分県豊後高田市	1,100 ha	H30～R18	堤防(補)7km 消波6km 排樋③ 排機③

